

## 〈太白区中央市民センター〉の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

当館の主催講座「伝統の仙台七夕作り隊養成講座」を終了した受講生が集まり「仙台七夕作り応援隊」として幅広く活動しています。昔ながらの商店街が健在する長町地域では毎年仙台七夕の時期に長町商店街連合会と連携して主催講座「ひと・まち賑わい七夕づくり」を開催しています。そこへサポーターとして参加して頂き、受講生に折り紙の折り方や薬玉の開き方など丁寧に指導してもらいました。昨年度は新しい試みで竹を使って「織り姫、彦星」を表現しました。

平成27年度は更なるスキルアップを目指しデザインから準備、作成、飾り付けまで講師として新しい受講生に指導をして頂きました。「昭和の七夕」をイメージした「3個の飾りと七つ飾り」を作成し、文化センター前に飾り付けました。講座の中で手軽に七夕を作り家族で楽しむ「ミニ七夕作り」講座の講師としても小学生から高齢者の受講生に七夕飾りの作り方を指導し、伝統の仙台七夕の伝承に努めています。その他、世代間交流も兼ね児童館での七夕作りの指導や図書館前の掲示板に季節を表現した折り紙等の作品の掲示も行っており、市民センターでは「仙台七夕作り応援隊」の地域に根ざした様々な活動を支援しています。



七夕作り



ミニ七夕作り



平成27年度



図書館入口に掲示

## 〈生出市民センター〉の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

### 「生出地区食文化の伝承」講座取組みについて

この講座は、仙台市の桃源郷と言われている自然豊かな坪沼地区にある「坪沼農園」で開催しました。そこで作物を栽培し地産地消を実践しながら、「食の安心・安全」を学び、昔ながらの手作りの技を地域の名人から学ぶことにより食文化を次世代に伝承することを目的としたものです。

#### 講座＜内容＞

- 1) 「栽培暦・畑の準備・種まき・管理について」5月21日（木）
- 2) 「食の安心・安全ー放射能の基礎知識」6月18日（木）
- 3) 「坪沼地区の歴史を辿る」7月16日（木）
- 4) 「地産地消ーおいしい枝豆料理」8月27日（木）
- 5) 「地産地消ーおいしい手作り味噌仕込み」9月17日（木）
- 6) 「地産地消ーおいしい手作り豆腐」10月15日（木）
- 7) 「地産地消ーおいしいお漬物づくり」11月19日（木）

#### ◆春まき種＜種類＞

- 1) 枝豆：湯上り娘・青豆
- 2) とうもろこし

#### ◆夏まき種＜種類＞

- 1) 白菜
- 2) 大根

#### 参加者からの感想（一部抜粋）

- ・一粒の種から実った野菜を収穫することにより、天地の恵みに感謝し、旬の味を知り、手塩にかけ育成している農家の方々のお気持ちに触れることができた。それが何より一番の収穫だった。
- ・「やるっちゃツボヌマ収穫祭」にスタッフとして初めて参加しました。坪沼の方々と一緒に盛り上げる事ができて光栄です！育てる楽しさ・難しさ・多くを学ぶことができました！



左上：種まき  
左下：大根収穫

右上：第2回講座  
右下：第4回講座



## ＜中田市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

中田市民センターでは、図書ボランティア「ブックスフレンドなかだ」の皆さんの活動をお手伝いしています。

ブックスフレンド中田の平成27年度の活動としては、中田小学校「若葉まつり」においてのイベントの実施、中田児童館「わくわく広場おはなしなあに」においての読み聞かせ活動の他、週に一度中田小学校において朝の読み聞かせを行いました。また、市民センターを拠点に活動する子育てサークルを対象にした読み聞かせとワークショップの指導も行いました。

市民センターとしてそれらの活動のサポートとして、ニーズの把握や各団体との調整等、またボランティアへの情報提供、活動へのアドバイス、月に一度の定例会への参加などを行ってきました。

今後も更なる活動の充実と活性化を図るため、センターとしては活動場所やレベルアップのための学習情報の提供などに努めていきたいと考えています。



## ＜西多賀市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組をご紹介します。

西多賀市民センターでは、平成21年度より西多賀検定委員会への活動支援として、4回の「検定」の実施やその検定問題をまとめた『西多賀の百問』の発行に協力してきました。

平成28年は、地域の住民の憩いの場であり、遺跡や古墳だけでなく、歴史的にも様々な形で地域に貢献してきた「三神峯公園」に桜を植樹して100周年の節目であることから、それを記念して「西多賀今昔かるた」を作成することとなりました。

地域の商店会である「三神峯はあとふる商店会」とともに連携し、かるた作成のための情報収集や、絵札の選定、説明文や読み札の作成などにも検定委員の方々と検討してまいりました。

平成28年4月10日に三神峯公園において「三神峯公園桜植樹百周年記念」を開催することになり、実行委員会に協力するとともに、当日「西多賀今昔かるた大会」において地域の皆様にお披露目することとなりました。

これからも、地域の皆様の活動をお手伝いさせていただきたいと思っております。



検定委員会の様子



## ＜八本松市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

4回連続講座（託児付き）「絵本大好き！読み聞かせ講座」を行いました。

各回テーマに沿って、絵本の選び方やその効果、実技を学びました。

始めは緊張気味の受講者の皆さんも、回を重ねるごとに絵本の世界に引き込まれ、和やかな雰囲気になっていきました。

たくさん並べられた絵本を実際に手に取りながら、絵本の持ち方、めくり方、見せ方、読み方なども学び、それぞれが選んだ絵本を手に、読み聞かせに挑戦しました。受講生の皆さんは、今までの受講の成果を発揮し、主人公になりきり読み聞かせを行いました。

この経験を活かし、これからも絵本の読み聞かせを行い地域に貢献したいという声も上がり、現在、地域の小学校（東長町小・八本松小）で読み聞かせのボランティア活動に参加されているという報告を複数の方から受けています。

楽しみながら受講した読み聞かせの講座が受講者の新たな生きがいとなり、地域貢献を果たすきっかけとなりました。



熱心な講義が続きました



## ＜八木山市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

八木山の住民が、地震などの災害に対して安心して生活できるよう、「助け合い」「防災から日常へ」を合い言葉に住民の幸せを支援することを目的とする「仙台八木山防災連絡会」は八木山地域の町内会、関連団体、小中学校、高校、大学、消防、交番、病院などの 39 団体により構成され、八木山市民センターを事務局として役員会・例会・総会と会員による話し合いや情報交換をし、子どもたちの防災教育などをしながら活発に活動しています。

平成 27 年度は、大規模改修工事後の八木山市民センター再開館記念「八木山防災フェスティバル・緑の風ぼうさいコンサート」から始まり、仙台赤十字病院との合同防災訓練、仙台市危機管理室主催「せんだい防災の広場」へ八木山防災パフォーマンスチーム参加、八木中祭での防災減災コーナー展示、八木山・八木山南地区総合防災訓練、八木山ベニーランドで「ぼうさいダンス」を披露した「秋の八木山フェスタ」、そして八木山市民センターで開催した「地域防災シンポジウム in 八木山」では小学校（2）、中学校（1）、高校（2）、大学（1）と子どもから若者まで 6 校が、日頃の学習や活動の成果を発表し、地域の方々とフロアディスカッションを行いました。こうした年間を通じての「仙台八木山防災連絡会」の多彩な活動を八木山市民センターは事務局として全面的にサポートさせていただいています。



八木山防災フェスティバル



仙台赤十字病院との合同防災訓練



せんだい防災の広場



地域防災シンポジウム in 八木山

## ＜山田市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

震災後に山田市民センターの講座から立ち上がった「地域ボランティア 絆プロジェクト・ほほえみ」は、3.11を忘れずに人と人が寄り添う場所を大切にしたいという思いから定期的に交流会を開いているボランティア団体です。

センターではこの活動を本年度も継続してお手伝いさせていただきました。

年4回企画・運営されたコンサートでは、その際の広報（センターだよりでのPRやプログラム等の制作協力）等の面でお手伝いさせていただきました。

これらによって「絆プロジェクト」の活動が地域にますます広く浸透し、復興支援の輪が広がりつつあります。

今後はボランティア団体として一層自主的に活動していけるよう応援を続けて参ります。

### 「地域ボランティア絆プロジェクト・ほほえみ」の活動の様子

5月28日開催・「続・絆カフェ交流会」  
朗読会と仮設住宅自治会の方の講演会を開催



10月3日開催・続・絆カフェ交流会  
「秋の音楽祭」を開催

## ＜茂庭台市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

### 水道山整備ボランティア活動支援

「水道山整備ボランティア」は、平成21年度茂庭台市民センター主催事業「市民企画講座 よみがえれ！水道山」に参加された皆さんが主メンバーとなり、発足しました。長年継続して活動された結果、それまでは木々や草がうっそうと生い茂っていた水道山（茂庭台緑地）がきれいに整備され、誰でも散策できるようになりました。

今年度は、それまで主な活動だった「枯損木（枯れてしまい倒れやすくなった木）」の伐倒作業、遊歩道整備に加え、虫に食われて枯れたナラの木々の伐倒作業を精力的に行いました。（平成26年に大規模なナラ枯れが発生し、ボランティアの方からセンターに連絡をいただきました。仙台市に連絡し、今年度ナラ枯れの一部を伐倒・薬液注入してもらいました。）

当センターでは、ボランティアの皆さんが活動しやすいように各種手続き、現場のサポートを行っています。



4月～11月の間、第2・第3木曜日に活動しています。

（8月を除く）

チェーンソーで抜倒し、木を綺麗にまとめます。



木々の間から陽が差し込むようになった水道山。植生も改善され、一時期姿を消していた草花がまた見られるようになりました。



薬液注入されたナラの木。ナラ枯れはカシノナガキクイムシが木に入り込むことで発生します。そのため、殺虫剤を注入し、虫が逃げないようにビニールで覆うそうです。

## ＜東中田市民センター＞の取組み [目標2]

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

昨年から太白区中央市民センターとの共催で開催している「ほっこりサロンボランティア養成講座」は、市民センターを拠点に地域の色々な場所でサロンを開催できるよう運営するボランティアさんを養成し、地域の方々が地域活動に取り組める場としての環境を整え、支えあい助け合える地域づくりを目指す講座です。前期（5月～8月）と後期（10月～1月）に、ハンドマッサージやタッピングタッチ、傾聴の基礎講座と練習会を実施し、地域の方や東中田地区に居住する被災者の方にも、来ていただきました。

この講座を修了したボランティア希望者は、前年度立ち上がったサークル『ほっこの会』に入会し、主催講座「ほっこりサロン」で定期的に活動しています。

2年目となるこの講座は、昨年度に引き続き地域内3児童館、市の家庭健康課が主催する乳幼児親子向け「おやこひろば in 東中田」、「東中田市民まつり」、「袋原中学校サロン」等でも施術を行い、癒しと世代間交流の場を提供しました。様々な機会でのサロン開催は、地域への情報発信につながり、ボランティアの意欲向上にもつながっています。



おやこ広場 in 東中田 c



ほっこりサロン養成講座打合せ

今日のおもてなし  
の花は向日葵



袋原中学校フェスティバル  
in ほっこりサロン



養成講座・ハンドマッサージ



## ＜柳生市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようにお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

柳生市民センターでは、お話ボランティア「なかよしこよし」、図書ボランティア「ブックポケット」のみなさんが活動しています。

今年度は、6月に『図書ボランティア養成講座』（全3回）を開催しました。

仙台市太白図書館職員や現ボランティアの方を講師に迎え、ボランティア活動にあたっての心構えや図書の貸し出しのしかた、図書の分類・配架についての講話と本の修繕の実技を学びました。

「基礎からわかりやすく学ぶことができ、ボランティア経験者にも、すぐ活かせる内容でした。」と感想をいただきました。これからの活動のスキルアップにつながったようです。

これからもボランティアさんのニーズを反映するなどして、活動が広がるお手伝いをさせていただきたいと考えております。

### 図書ボランティア養成講座のようす



## ＜秋保市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

市民センターでは、各種団体の活動や学びの成果などの情報を広く紹介している。当センターでは、主催講座から立ちあがったサークル「ボランティアサークル秋保語りの会」が当センターを拠点に活動している。「あきう熟年のひろば」講座で民話語りの講師依頼や、他館や地域団体、各施設から講師依頼の要請対応として情報提供を行い支援している。また、秋保里センターと共催し開催している「秋保ふるさと移動展示会」では、当センターで活動しているクラフト・絵画・手芸等の各種団体の作品を秋保里センターに展示することで、地域住民や地域外の方にも団体の活動を知ってもらうきっかけとなり、地域が活性化していくよう取り組んでいる。



「あきう熟年のひろば」で秋保語りの会の方々を講師にお招きし、秋保にまつわる民話をご披露いただきました。

秋保里センターを会場に、「秋保ふるさと移動展示会」で作品を発表しています。



## ＜富沢市民センター＞の取組み〔目標2〕

市民の皆さまが学びや情報を活かして地域で活動していただけるようお手伝いさせていただきます。

平成27年度の取組みをご紹介します。

富沢市民センターではさまざまなサークルが、積極的に活動を行っています。日頃の活動の成果を地域に生かしてもらおうと、主催講座の講師をお願いしました。

◆「おはなしの部屋」の講師：「おはなしはらっぱ」と「人形劇団プーポイ」

この講座は、幼児と保護者を対象に事前申込不要で、5月～3月主に第2水曜日に開催しているものです。今年度は全10回開催し、「おはなしはらっぱ」が8回、「人形劇団プーポイ」が2回担当し、毎回35組約70人前後の参加がありました。

◆富沢小学校連携事業「地域を知って富沢博士になろう」の講師：「郷土（ふるさと）を愛する歴史の会」

歴史の会の皆さんは、富沢小学校3年生の児童と一緒に地域を回りながら、日頃の学習の成果を生かし富沢の歴史について話してくれました。

◆「とみざわ子どもの広場」講師：「十割そば睦会」

学校休日の土曜日を活用し、子供たちの体験・学習・交流の場を提供する講座で、市民センターの利用サークル「十割そば睦会」のメンバーをお願いしました。一緒にそばを打ちながら講師という垣根を超えて、参加者親子との交流の場になりました。



「おはなしの部屋」の様子



富沢小学校連携事業

「地域を知って富沢博士になろう」の様子



とみざわ子どもの広場

「家族でそば打ち体験」の様子